

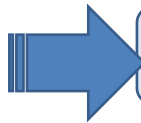
効果的な保健指導事業と 人材育成

千葉大学大学院看護学研究科
宮崎 美砂子

H 2 0 年度の進捗状況からみた課題

- 健診受診率の確保
 - 40歳代、50歳代の健診率が伸びていない
 - 周知の浸透、関心の喚起、健診を受け易い条件づくりへの対応は？
- 受診勧奨者、受療者への対応
 - 受診勧奨判定値を超える人が予想以上に多い。対応のシステム化は？
- 保健指導実施率の確保
 - 希望者が少ない
 - 保健指導への理解・関心をどう高めるか？ 未参加者への対応への対応は？
- アウトソーシングに対する医療保険者の役割
 - アウトソーシング先に役割発揮してもらうには？
 - 医療保険者としての役割は？ アウトソーシング先に期待する役割は？
- 特定保健指導後の受け皿
 - 健康増進事業との関係づけは？
 - 地域住民による自主的な健康づくり活動は？ 人材育成は？

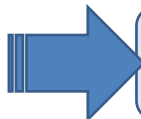




保健指導を効果的に推進するために今後、何を強化すべきか？

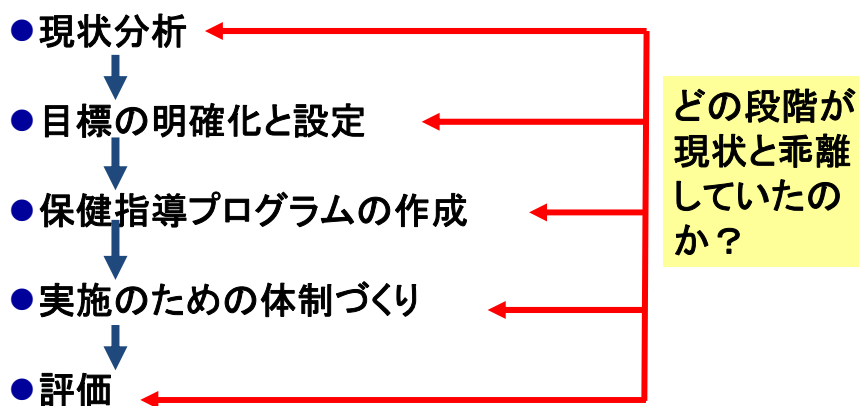
特定保健指導における専門職の役割

1. **保健指導事業の企画・マネジメント・評価**
→医療保険者に所属する専門職、医療保険者から執行委任された地域(職域)保健に所属する専門職への期待
2. 予備群に相当する人に対して必要な**行動変容を確実に促す**
保健指導プログラム策定・実施・展開
→医療保険者から執行委任された地域(職域)保健に所属する専門職、アウトソーシング先としての民間事業者(医療機関、健診機関等を含む)に所属する専門職への期待
3. 有病者に対する**重症化予防のための保健指導の実施**
→医療機関に所属する専門職への期待
4. 家庭、地域、学校、職場等において生活習慣病予防を浸透させる**ポピュレーション・アプローチの展開**
→地域(職域)保健に所属する専門職への期待

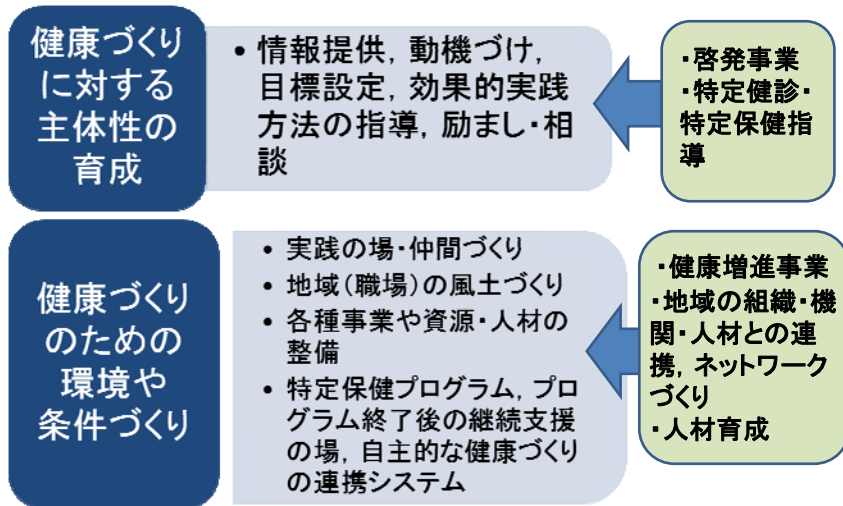


保健指導を効果的に推進するために今後、何を強化すべきか？

特定健診・特定保健指導の計画策定と評価



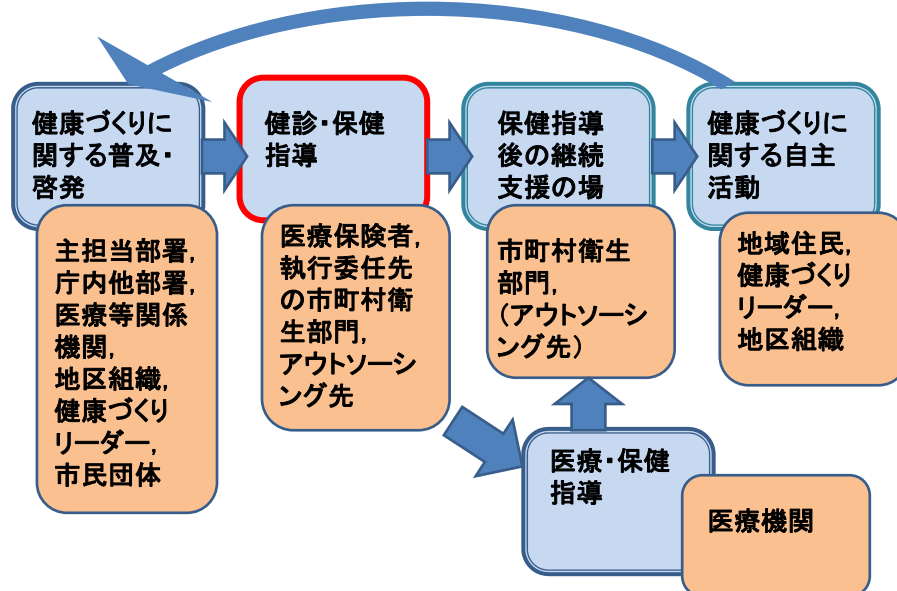
生活習慣病予防における 保健事業のねらい



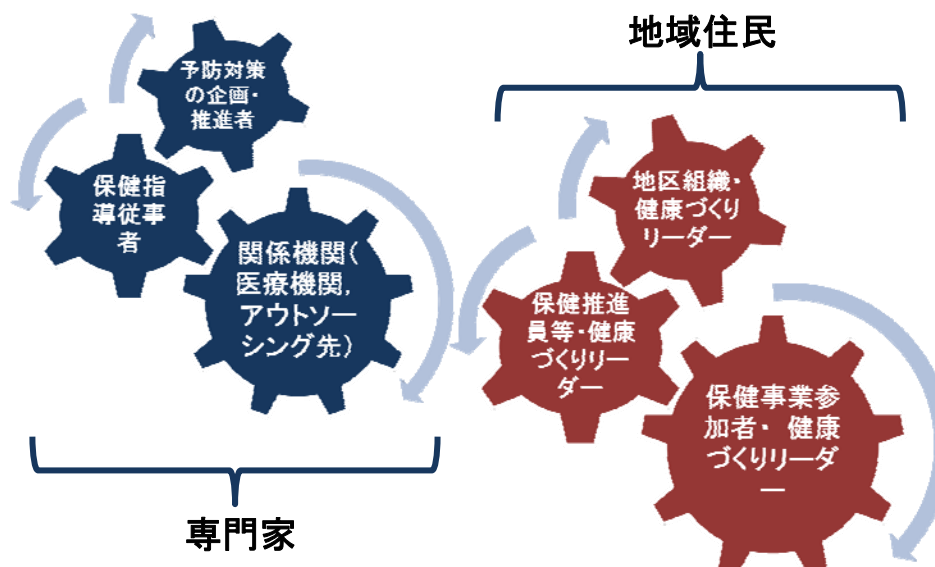
生活習慣病予防対策の全体像は？

- 地域における生活習慣病予防対策の全体像をどのように描いているか？
- 啓発・健康づくり(1次予防), 健診・保健指導による早期対応(2次予防), 重症化予防(3次予防)に対する各計画を総合的に描いて対策を進めようと考えているか？
- 対策の全体像の中で, 特定健診・特定保健指導として取り組むべき課題を考えているか？

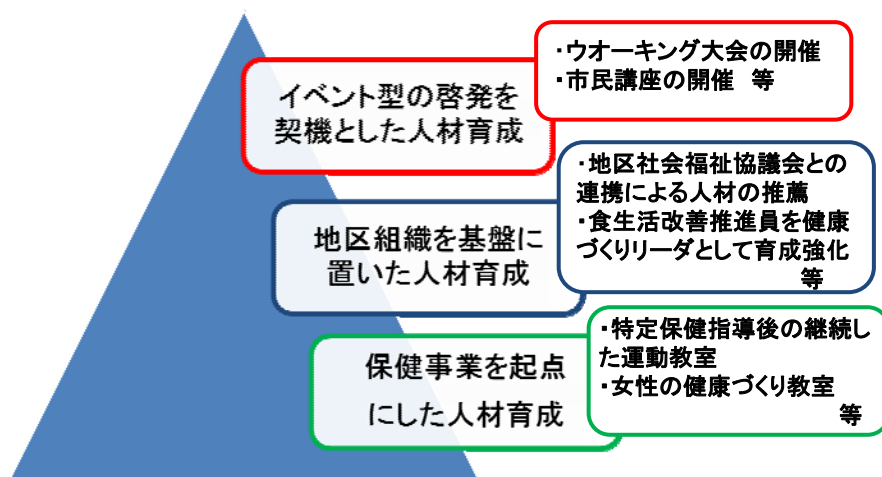
生活習慣病予防の推進体制



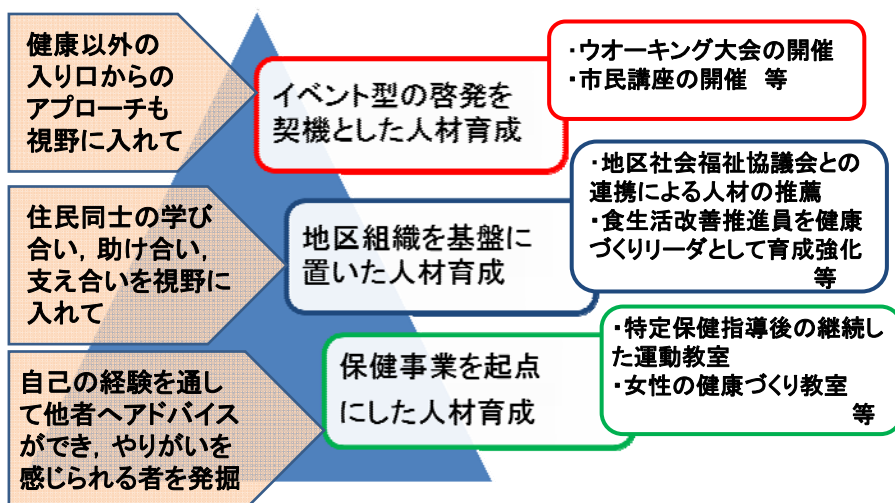
生活習慣病予防対策に関わる人材育成



健康づくりの主体となる地域住民の育成



健康づくりの主体となる地域住民の育成



生活習慣病予防・健康づくりに対する 文化の伝承・創生

- 生活習慣病予防に対する行動が、日常生活の中で、当たり前のように定着し、継続されていくには、運動や食事などの行動変容に向けた取組が、個人レベルで（密かに）行われるのではなく、家族、学校、職場、地域などの生活拠点において、理解・認知され、経験者から経験の浅い者へコツが伝承され、その経験が循環していく仕組みが地域内に必要ではないか。予防活動や健康づくりが生活の場に浸透・波及し、健康づくりの新たな価値が創生されていくような風土づくりを意識して取組むことが大事となるのではないか。